

# 新着図書からおすすめの5冊



毎週火曜日は、新着図書の配架日です。本日9月20日（火曜日）の新着図書の中からおすすめの本を紹介します。インターネット予約・貸出は、9月27日（火曜日）からです。

## 『ダイアナ妃 命をかけた最後の恋』

河出書房新社 編集部/編、河出書房新社/刊、請求記号：289.3/ D,14

内容：ダイアナ妃の知られざる最後の恋とは？最も親しかった人たちへの直接取材と歴史的スクープで鮮やかに描く、愛と苦悩の36年。NHK BSプレミアム「アナザーストーリーズ」での放送をベースに書籍化。

## 『気候変動で読む地球史』

水野一晴/著、NHK出版/刊、請求記号：451.8/ Mi,96

内容：これまで著者が調査してきたアフリカ高山帯や砂漠地帯を中心に、1億年から1日までのさまざまなタイムスケールで、世界の限界地帯で起きた気候変動が、自然と植生、さらには人間の生活にもたらした影響について解説する。

著者紹介：1958年愛知県生まれ。東京都立大学大学院理学研究科地理学専攻博士課程修了。京都大学大学院文学研究科地理学専修教授。「神秘の大地、アルナチャル」で日本地理学会賞優秀著作部門を受賞。

## 『戦争と看護婦』

川嶋みどりほか/著、国書刊行会/刊、請求記号：498.1/ Ka,97

内容：大戦中、看護婦が「戦時召集状」によって召集された事実を知っていますか？看護婦たちがあの大戦で、いのちをかけて救護活動をした史実を、多くのインタビューと豊富な資料によって、いま明らかにする。

著者紹介：日本赤十字看護大学名誉教授。2007年第41回ナイチンゲール記章受章。著書に「キラリ看護」など。

## 『タワー』

津川康雄/著、ミネルヴァ書房/刊、請求記号：523.1/ Ts,38

内容：日本各地のタワーや高層ビルは、いつ・なぜ建てられたのか、誕生の裏側に迫り、それらから見える景色や地域、人々との関わりを中心に紹介。また、ランドマークとしてのタワー・超高層ビルの意味も紐解く。タワー雑学も掲載。

著者紹介：1953年東京都生まれ。立命館大学大学院文学研究科地理学専攻博士後期課程単位

取得満期退学。博士(文学)。高崎経済大学地域政策学部教授。著書に「地図で読み解く江戸・東京」など。

## 『ことばの地理学』

大西 拓一郎／著、大修館書店／刊、請求記号：818/O,66

内容：柳田国男の方言圏論で有名な「カタツムリ」の分布も、検証すると疑問点がある…。川や海の交通網、家族制度、人口密度など、多彩な視点から「土地」と「ことば」の結びつきの謎に迫り、方言研究の新たな地平を切り拓く。

著者紹介：1963年大阪府生まれ。東北大学大学院文学研究科修了。国立国語研究所教授。専門は方言学、言語地理学。著書に「現代方言の世界」など。

**佐賀県立図書館** 〒840-0041 佐賀県佐賀市城内二丁目1-41

Tel 0952-24-2900 Fax 0952-25-7049 E-mail [saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp](mailto:saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp)